

広報

はちおうじの教育

7.15

2017(平成29年)
No.91

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

発見とおどろきいっぱいの 夏にしよう!

ソウだ!

コニカミノルタ
サイエンスドーム
キャラクター
はっちゃん

コニカミノルタ
サイエンスドーム
キャラクター
ハカセ

太古の八王子にゾウがいたっ!?

北浅川河川敷から発掘された、230万年前の「ハチオウジゾウ」の化石(レプリカ)におどろく子どもたち。

7月22日にリニューアルオープンするコニカミノルタ サイエンスドームでは、ハチオウジゾウの実物大想像復元図や八王子隕石のパネル展示など、八王子の自然科学を体験できます。

この夏、時を超えて太古への旅にでかけよう。



百年の彩りを
次の100年の
輝きへ

八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎ 664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎ 664・3665

いじめに関すること

いじめ相談 ☎ 620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

なやみ言おう
☎ 0120・0・78310

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。(※7月22日～8月27日を除く)

どうして、
「桑都」って
呼ぶのかな？



なぜ、
はちおうじって
いうのかな？



市制100周年

はちおうじっ子の夏休み



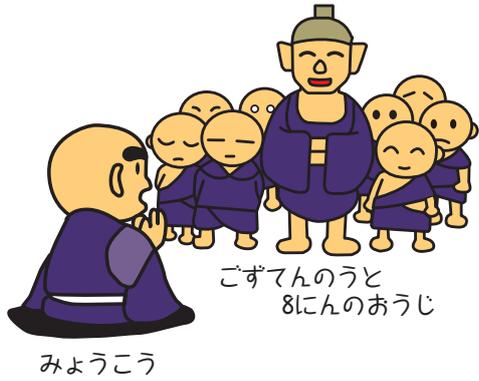
八王子を 調べてみよう

八王子市が誕生して今年で100周年。八王子がどのようにして誕生したのか、どのようなまちなのかなど、夏休みに家族と一緒に調べてみましょう。問い合わせは学校教育政策課(☎620・7403、☎627・8811)へ。



地名の由来を調べて

「八王子」という地名は、全国各地にあります。私たちがまち八王子の地名の起源は何でしょうか。平安時代、華嚴菩薩妙行という僧侶が現在の元八王子町の城山の麓にいおりを建て、牛頭天王とその子どもである8人の王子をまつり、八王子権現と称したのが起源だといわれています。そして、戦国時代の終わり、滝山城主の北条氏照がこの山に城を移し、その守護神として八王子権現をまつったことから八王子の名が定着していったとされています。地名はその地域の歴史と深く関わっているようです。宮上中学校では、地域の歴史について学ぼうと、調べる学習を実施。昔から宮上地区に住んでいる方から「宮上」という地名の由来



や昭和40年代以降行われた多摩ニュータウン開発について話を聴きました。その話の中に登場した場所を歩いて巡る「地域調査」では、多摩ニュータウン開発前からある古い建物や、開発後に新しく造られた公園、橋などを探索。「小山内裏公園」の名前の由来となった「内裏谷戸」という昔の地名から、この辺りの地形が谷だったことを学びました。子どもたちは「地名の由来から、昔の風景を思い浮かべることができた。もっと地域のことを深く知りたい」と話していました。皆さんが住む地域の地名にはどのような由来があるでしょうか。地域の人から話を聴いたり、地域を歩いたりして地名の由来を調べてみましょう。



▲昔の地名が残る小山内裏公園

身近な自然をみつめて

本市には、多様な種類の動植物が息する豊かな自然が多く残っています。特に高尾山では世界でも珍しい種類の昆虫や植物を観ることができません。また、市内を東西に流れる浅川では、カワセミやアユなど、多くの野鳥や魚が生息しています。

由井第三小学校では、身近な場所の自然環境を知ろうと、学校のそばを流れる湯殿川を散策。川の上流と下流での水の流れ方の違いや、水の透明度について調査をしたり、川の中や川辺の生き物を採取したりしました。子どもたちは、水辺の環境や生態系を通して地域の自然環境について学んでいます。皆さんの身近な場所にもたくさん植物や生き物が生息しているはず。自然を見つけに出かけてみましょう。



▲湯殿川の生き物を調べて

先人の思いにふれて



▲蚕の好物の桑の葉を観察して

養蚕や織物が盛んで、古くから「桑都」と呼ばれた八王子。江戸時代、多摩地域や関東近郊で作られた織物が八王子に集められ、江戸まで運ばれました。明治時代には、繭や上質な絹糸を「絹の道」を通じて横浜まで運び、外国へ輸出。これによって八王子は織物の要所として繁栄しました。

第八小学校では、養蚕について学ぼうと、農家の方から蚕の生態や飼育方法について指導を受けています。蚕の飼育がすべて手作業で行われることや、繭が着物や化粧品などに加工される昔から人々の暮らしに役立っていることなどを学びました。子どもたちは「昔の人たちが残してくれた養蚕の技術を大切にしたい」と話していました。

皆さんの家に絹でできた品物はありますか。養蚕への先人の思いにふれてみましょう。

まちの英雄を探して

7月10日、本市はドイツ・ヴリーツェン市と友好交流協定を結びました。ヴリーツェン市との縁は、今から70年以上前に遡ります。

皆さんは、本市出身の医師肥沼信次博士を知っていますか。ドイツに留学していた肥沼博士は、第二次世界大戦



▲肥沼博士の功績にふれて

終戦直後のヴリーツェン市で、自分の命の危険をかえりみず、伝染病発疹チフスで苦しむ人々のために治療にあたり、多くの命を救いました。しかし、自らもチフスに感染し他界。ヴリーツェン市民の間では現在でも肥沼博士の功績が語り継がれ、名誉市民として敬愛されています。

肥沼博士の母校第三小学校では、博士の生涯を描いた本や資料を読み、ヴリーツェン市での功績について学習。博士がどのような思いで治療にあたったのかなど、新聞形式にしてみました。子どもたちは「肥沼博士は、医師としての使命をつらぬいた立派な人。私たちが誰かのためになる仕事をしたい」と話していました。

皆さんの身近な人に「どのような仕事をしているのか」や「誰のために仕事をしているのか」など、インタビューしてみよう。肥沼博士のような英雄に出会えるかもしれません。



▲肥沼信次(1908～1946年)

本市中町出身の医師。昭和12年にドイツに渡り、放射線医学を研究。第2次世界大戦終戦直後のヴリーツェン市で医療活動に従事。昭和21年3月8日、発疹チフスにより37歳で他界。



教育委員会の動き

4回の会議を開催

平成29年4月から6月まで定例会を4回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○平成30年度八王子市立小学校使用教科用図書採択要綱について

○八王子市教育委員会いじめ問題対策委員会への諮問について

【報告事項】

○「読書感想画」「読書感想文」コンクール上位入賞者の海外派遣について

○IFSCボルダリングワールドカップ八王子2017の大会結果について

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
7月19日(水) 午前9時30分～	市役所本庁舎
8月2日(水) 午前9時30分～	
8月30日(水) 午前9時30分～	

問い合わせ 教育総務課(☎6220・7323) FAX 927・8811

就学時の支援

新入学時の学用品などの購入費を援助

市では、経済的な理由で学用品などの購入費用にお困りのご家庭に、その費用を援助しています。平成30年4月に小・中学校へ入学するお子さんがいるご家庭を対象に、入学準備金を入学前の3月に支給します。申請方法など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

就学援助「入学準備金」の支給までの流れ



問い合わせ 教育支援課(☎6220・7326) FAX 927・8813

安全な夏休みを過ごすために

家族で一緒に話し合おう

携帯電話やスマートフォンは、気軽にインターネットやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)に接続でき、情報収集や、コミュニケーションを図る手段として便利なツールです。しかし、使い方により相手に嫌な思いをさせたり、いじめなど、人間関係のトラブルに発展したり、犯罪に巻き込まれたりする可能性もあります。

夏休みは、子どもたちがインターネットやSNSを利用する機会が増える時季。子どもたちが安全に利用できるよう、スマートフォンなどの正しい利用方法などについて、家族で子どもと一緒に話し合い、保護者も子どものお手本となるよう心がけましょう。

地域でも安全の見守りを

夏休みは自然や人とのふれあいを深めて人間性を培ったり、学校生活では得がたい経験を積んだりするなど、かけがえない時間を過ごすことができます。しかし、生活が不規則になりがちで、子どもが問題を起こすことや事故・事件に巻き込まれる可能性があります。

子どもたちだけで出かけるときは、保護者は必ず行き先や帰宅時間などの確認を。川遊びに出かける際は、大人が付き添いましょう。また、地域の皆さんへは、子どもたちが危険な場所に近付こうとしていたり、危険な行為をしたりしていたら、声かけや注意をお願いします。不審者や不審な車、子どもたちが犯罪に巻き込まれそうなようすを見かけたときは、すぐに110番通報してください。

子どもたちが、夏休みを安全に過ごすために、地域でも安全の見守りにご協力をお願いします。

子どもと考えよう利用ルール

価値ある使い方を考えよう

- ✓時間を無駄にしない使い方を伝えよう
- ✓周りに不快感を与える使い方は注意しよう
- ✓価値あることとは何かを一緒に考えよう

子どもの行動に責任をもとう

- ✓子どもの利用状況を把握しよう
- ✓ケータイ・スマホの所持目的を確認しよう
- ✓子どもたちの手本となる使い方をしよう

市立小・中学校の状況

平成29年5月1日 現在

- ① 小学校 70校
児童 27,989名
(前年比-171名)
- ② 中学校 38校
生徒 13,207名
(前年比-298名)

問い合わせ 指導課(☎6220・7405、FAX 627・8811)

「はちおうじっ子ホームページ」で子ども向けに情報を発信しています。



こちらからご利用を